



## たすけあいを、忘れない ～「NHK海外たすけあい」キャンペーン～

12月1日(土) JR姫路駅をかわきりに、23日(日)までの毎週土日、県内8カ所で「NHK海外たすけあい」街頭募金を行いました。

冬本番となった12月。雨風に震える日もありましたが、ボランティアの皆さん、青少年赤十字加盟校や看護専門学校の学生、職員等、延べ250人が各地で元気に募金への協力を呼びかけました。街行く方々から、「頑張ってくださいね」、「うちの子供が以前、日赤さん(病院)で助けてもらったから」と、言葉を添えて協力をさせていただく場面も。「たすけあいを、忘れない」をテーマに、東日本大震災でいただいた世界160以上の国や地域からのあたたかい支援に対して、今度は日本から世界にできることをという思いのこもった活動となりました。

お寄せいただいた募金総額は、次号でご報告させていただきます。



小さな子供さんにも  
ご協力いただきました



## 「ひょうご安全の日のつどい」「災害対応力を身につけよう!!」開催

当支部では、1月17日に「ひょうご安全の日のつどい」に参加し、2月には災害の備えとして「災害対応力を身につけよう!!」を開催予定です。

阪神・淡路大震災から18年、東日本大震災から2年目を迎えました。大災害が発生した時、誰もが自分の住んでいる地域の力となるように、また平時にも大切ないのちを守るように、防災への意識を高めようというものです。

「ひょうご安全の日のつどい」では、兵庫県赤十字奉仕団の皆さんが、なごさ公園で豚汁の炊出し(300食)を行い、来場者へ振舞います。

「災害対応力を身につけよう!!」では、災害時に迅速に活動できるよう、赤十字防災ボランティア等の皆さんが総合訓練を行います。また来場された皆さんには、AEDを使った心肺蘇生や三角巾での応急手当、担架搬送体験、他にも子供たちも楽しめる催し物も用意しています。

非常食の試食や救援物資の配布も行います。ぜひ、遊びに来てください。

### ○ひょうご安全の日のつどい 交流ひろば

日時 1月17日(木) 13:00～15:00  
場所 なごさ公園  
(神戸市中央区脇浜海岸通り)

### ○災害対応力を身につけよう!!

日時 2月11日(月・祝) 12:00～14:00  
※10:30からの総合訓練は見学可能です。  
場所 丹波市立スポーツ施設  
三ツ塚ふれあいセンター愛育館  
(丹波市市島町上田1139)



## 講習のご案内 ～健康で安全な生活を送る知識と技術を～

新しい年を迎え、今年の目標は決まりましたか?「健康で安全に過ごす」というのはどうでしょうか。皆さんにとって素晴らしい一年になりますように。

安心して毎日を過ごすため、急な病気やケガを手当する正しい基礎知識と技術を身につけてみませんか?日本赤十字社は、皆さまが健康で安全な生活を送るためのお手伝いをします。

内容		開催日
救急法救急員養成講習(2日間)		平成25年 2月 23日(土) 24日(日)
救急法基礎・救急員養成講習(セット講習 3日間)		平成25年 2月 9日(土) 10日(日) 11日(月・祝) 平成25年 3月 2日(土) 3日(日) 9日(土)
健康生活支援講習(3日間)		平成25年 2月 14日(木) 21日(木) 28日(木)
科目別講習	幼児安全法 こどもに起こりやすい事故の予防と手当について	平成25年 3月 12日(火) 10:00～12:00
	救急法 こどもの一次救命処置	平成25年 3月 12日(火) 13:00～15:00
	救急法 骨折の手当と搬送法	平成25年 3月 12日(火) 15:30～17:30

講習会場は日本赤十字社兵庫県支部です。詳細及びその他の講習についてはホームページで。

# ひょうごの 赤十字

2013  
JANUARY 1月

- 平成25年新春メッセージ
- 平成24年兵庫県赤十字有功章等贈呈式
- 地域赤十字奉仕団員研修会
- 第21回 近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会
- 神戸マラソンEXPO2012
- たすけあいを、忘れない
- 「ひょうご安全の日のつどい」「災害対応力を身につけよう!!」開催
- 講習のご案内

 日本赤十字社 兵庫県支部  
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号  
TEL.(078)241-9889 FAX.(078)241-6990  
<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

赤十字 兵庫

検索





## 平成25年新春メッセージ ～兵庫から未来を拓く～

初春のお喜びを申し上げます。

世界の主要国で次代のリーダーが決まり、新しい国際秩序の構築が求められています。私たち日本も新たな枠組が決まりました。成熟社会にふさわしい社会システムへの転換に向けた歩みを進めなくてはなりません。

人口減少や高齢化を悲観するのではなく、変化に対応しつつ、これまで築いてきた知恵や資源を活かして豊かな地域社会をつくる好機とすべきです。世界に開かれた歴史や文化を有し、多様な人材を輩出して日本をリードしてきた兵庫が、今こそ持てる力を十分に発揮し、未来を拓く先頭に立って歩んでいこうではありませんか。

1つには、安全安心の基盤をつくる。南海トラフ巨大地震や頻発する風水害への備えに万全を期すとともに、医療、福祉など暮らしを支える基盤を確保します。

2つには、質の高い生活をつくる。次代を担う人づくりを進めるほか、高齢者や女性の活躍を応援し、誰もが生きがいや豊かさを実感できる社会をめざします。

3つには、新時代の経済社会をつくる。最先端の科学技術基盤を活かした新産業創出、農水産物のひょうごブランド戦略の推進など、世界と競える産業をつくります。

4つには、地域の元気をつくる。交通基盤を充実しつつ、地域再生大作戦やツーリズム振興など、内外との交流の促進を通して地域の活性化を図ります。

こうした取組を自らの判断と責任で進めるため、地方分権改革を関西広域連合と一体となって推進するとともに、第2次行革プランの総点検を行い兵庫の自立をめざします。

さあ、21世紀兵庫長期ビジョンのもと、県民みんなの知恵と力、ふるさと兵庫への思いを結集し「創造と共生の舞台・兵庫」をつくりあげていきましょう。

新時代 拓く基は 県民の 知恵と資源を 生かす志



支部長／兵庫県知事

井戸敏三



## 平成24年兵庫県赤十字有功章等贈呈式

11月29日(木)、兵庫県公館で「兵庫県有功章等贈呈式」を開催しました。

当日は、会場には約300人の受章者、関係者の皆さんが訪れ、井戸敏三兵庫県支部長は、挨拶で「日頃から赤十字を応援して下さる大勢の皆さま、ありがとうございます。」と、感謝の言葉を述べられました。

この有功章等贈呈式は、兵庫県支部に対して事業資金や奉仕活動、献血等への協力をいただいた方々を表彰するもので、今回の受章は524の個人・法人・学校。その中から29人の皆さんが、壇上受章されました。また、壇上の受章者の皆さんは支部長から声をかけられ、笑顔で握手されていました。

贈呈式の後には、兵庫県防災監の杉本明文氏による「南海トラフ巨大地震—兵庫県の取組—」と題した講演を開催。兵庫県内で予想される地震、津波の被害の想定と対策をテーマにした身近に起こり得る災害の講演に、皆さん聞き入っておられました。

昨年に引き続き司会進行は、青少年赤十字加盟校の兵庫県立明石高等学校放送委員会。今年は1年生の高本実乃梨さん、木嶋朝香さんが爽やかに努めてくださいました。



壇上受章される皆さん



## 地域赤十字奉仕団員研修会

～赤十字活動の理解と、奉仕団活動の充実のために～

10月12日(金)の北播磨地域からスタートした地域赤十字奉仕団員研修会。但馬・丹波地域、東播磨・中播磨地域、西播磨地域と続き、12月6日(木)の神戸・阪神・淡路地域の5カ所で開催され、143人の団員の皆さんが参加されました。この研修会は、「赤十字活動をさらに理解し、今後の赤十字活動の充実を図るため必要な知識等を身につける」を目的に開催されており、研修会では始めに赤十字を知る研修や赤十字活動指導講師による歴史、誕生、基本原則、国際赤十字についての講義を、皆さん熱心に聞いておられました。昼食は非常食体験として、アルファ化米のご飯です。お湯があれば非常時でも美味しいご飯を食べることができると、とても好評でした。午後からは、三角巾を使ったきずの手当て等、覚えておくと役立つ応急手当の実技研修。以前に研修を受けたことのある方々は、手当ての方法を思いだしながら、一方、初めての方々は三角巾の扱い方に戸惑いつつも、皆さんそれぞれ楽しく研修を受けていただきました。参加された団員の皆さんは、「今日は参加できてよかった。こういった研修会は続けて行くべき。」と、とても満足された様子でした。



賑やかな、楽しい研修でした



## 第21回 近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会

11月8日(木)9日(金)、しあわせの村(神戸市北区)で、「第21回第4ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会」を開催しました。今回は、兵庫県青少年赤十字賛助奉仕団が担当で企画・運営を行い、近畿各府県から賛助奉仕団員31人にご参加いただきました。参加者全員で『空は世界へ』を歌い、続いて『青少年赤十字賛助奉仕団信条』の唱和。市橋勲委員長と竹中正勝事業部長からの挨拶のあと、皆で記念写真撮影。



神戸に集まった近畿ブロックの青少年赤十字賛助奉仕団の皆さん

研修会では、「団員の高齢化に対する対策」や「奉仕団の在り方」など、多岐にわたる議題に対し、各参加者から活発な意見や提案が出され、会場内は熱気に包まれていました。その後、交流会に移ってからもその熱気は冷めることなく、笑いの絶えない和気あいあいとした時間が流れました。

2日目、兵庫が舞台となった大河ドラマ「平清盛」を訪ねる歴史探索を行い、ガイドの説明を聞きながら、清盛ゆかりの施設を巡りました。探索のあとは、皆さんで昼食をとり、歩き疲れた体を休められていました。

2日間の交流研修会は、とても楽しく和やかに終えることが出来ました。



## 神戸マラソンEXPO2012

～安心して走るための予備知識を体験～

11月23日(金・祝)24日(土)、神戸マラソンEXPOが開催されました。25日(日)の神戸マラソン本番前の2日間、参加ランナーの受付会場となる神戸国際展示場では、このマラソンを応援する26の企業展示ブースが、来場者を迎え入れました。

兵庫県支部は、安心して走っていただくために、マラソンコース内に70台配備されているAEDの使い方や、心肺蘇生の方法を覚えていただくミニ講習を行いました。過去、マラソン中に心拍停止したタレントの例もあり、AEDへの関心は高く、ランナーだけでなく応援に来られた方々、約100人の皆さんが体験され、「教えてもらえてよかった、勉強になりました。」と、喜んでいただけました。

マラソン当日は1万9千人余りのランナーが神戸の街を元気に駆け抜け、救護所の利用はあったものの、AEDの使用件数は0件ということでした。



多くの皆さんにAEDを体験していただきました